

能の狂言 の世界

立春!



静御前、平知盛などが登場する
ドラマティックな能

『船弁慶 重千前後之巻』
味方 玄
撮影・牛原正勝



一流の能楽師たちによる「幽玄の世界」

『船弁慶 重千前後之巻』
味方 玄
撮影・工原円

美しき謡と舞

可笑しみ溢れる狂言



出演

演目

能 狂言 素謡
仕舞 狂言 神歌
船弁慶 重千前後之替
屋島、羽衣キリ



かたやま くろう えもん
片山 九郎右衛門

みかた しずか
味方 玄

のむら まんさい
野村 萬斎

2023年
2月18日(土) 14:00開演
(13:15開場)

大和市文化創造拠点シリウス
1階 芸術文化ホール メインホール

S席 4,000円 A席 3,000円

(全席指定・税込) ※未就学のお子様のご入場はご遠慮いただきます。

友の会会員先行 2022年10/12[水]10:00～

※インターネットのみ
※会員先行は、一般発売日の前日18:00までの受け付けとなります。

一般発売 2022年10/15[土]10:00～

※一般発売日初日の窓口販売はいたしません。

チケット申し込み

やまと芸術文化ホールチケットデスク

ネット申込 <https://www.yamato-bunka.jp/hall/> (24時間受付)

支払い方法: セブン-イレブン店頭(現金またはクレジットカード)

電話受付 046-263-3806 (9:00～18:00)

支払い方法: ①1階ホール事務室(現金のみ)
②セブン-イレブン店頭(現金またはクレジットカード)

窓口受付 1階ホール事務室(9:00～18:00) 支払い方法: 現金のみ

※チケットは予約日を含め、8営業日以内にお引取りください。
※セブン-イレブンでの発券をご希望の場合、手数料が発生します。ご了承ください。

イープラス <https://eplus.jp/>

チケット
ぴあ <https://t.pia.jp/>
[Pコード:515-339]

ローソン
チケット <https://l-tike.com/>
[Lコード:31785]

Confetti(カンフェティ)

<http://confetti-web.com/yamato-bunka/>
0120-240-540
通話料無料(受付時間 平日10:00～18:00※オペレーター対応)

※チケットの取り扱いに関しては、9月30日時点の情報です。今後の状況によって変更となる場合がございます。最新の情報はホームページにてご確認ください。

■お問合せ やまと芸術文化ホールチケットデスク(大和市文化創造拠点シリウス1階ホール事務室) 046-263-3806(9:00～18:00) ※年末年始・休館日を除く

■主催 やまとみらい(大和市文化創造拠点等 指定管理者)



能・狂言の世界へ、ようこそ！

能楽へのいざない



鑑賞への手引き

能・狂言のあらまし

能と狂言の歴史を振りかえると、平安時代の猿楽にたどりつきます。当時の猿楽は主に笑いの芸能であり、コミカルな芸風を台詞中心の喜劇に昇華させたのが、狂言だといわれています。

また、能の母体ともなる猿楽は、寺社などで儀式性をもった芸能として定着し、鎌倉時代後半には猿楽座が形成され、あらたに能という歌舞劇に発展していきました。能が大成し、たくさんの作品が創られたのは、室町時代以降の中世期。能の曲の多くが『平家物語』や『源氏物語』などの古典を題材にしたストーリーです。

能は、謡と舞と囃子からなりたっています。いわば歌と台詞、舞と所作、音楽を総合した中世のミュージカルともいえるでしょう。様式化された表現も多く、観客の想像力が働けば働くほど、舞台のおもしろみが増していく芸でもあります。

シテ(主人公)のほとんどが能面をつけていることから、能は仮面劇ともいわれます。「能面が曲の位を支配する」といわれるほど能面は重要です。無限に変化する能面の魅力も見どころです。装束(衣装)は実に絢爛豪華。染織の粋を凝らした装束などは、美術工芸品としても扱われます。

一方の狂言は、リアルな話し言葉のやりとりによって舞台が進行しますが、台詞や所作の基礎には、謡と舞の歌舞的要素があります。磨き抜かれた狂言特有の妙技から、中世の人々の生活や風俗が、格別の笑いととも生き生きとよみがえります。

能と狂言が完成してから六百年あまり。絶えることなく演じつづけられ、観つづけられてきた能と狂言は、時代を経て変わることもない人間の本质を、美しく、ときに激しく、悲しく、または楽しく、舞台に創造しています。

能楽用語のポイント解説

- 能楽とは**——能と狂言の総称
- 能楽師とは**——能・狂言の演者
シテ方、ワキ方、狂言方、囃子方(笛方、小鼓方、大鼓方、太鼓方)の種類があり、それぞれ専門に演じられます。また各分野には複数の流派があります。
- 番組とは**——能・狂言のプログラム
上演曲や出演者、小書(特殊演出)などが、一定の決まりごとにしたがって記されています。
- 能舞台とは**——能・狂言を演じるための専用の舞台
本舞台や橋掛りなどからなりたち、本舞台の四隅には柱が立っています。ホールなどで上演されるときは、舞台上に能舞台が特設されることもあります。

出演者の紹介



かたやまくろただ 片山九郎右衛門



みかたしげお 味方玄



のむらまんせい 野村萬齋

観世流シテ方。一九六四年、人間国宝・故片山幽雪の長男として京都に生まれる。(公社)京都観世会会長として能楽の継承と普及に尽力。能の伝統美そのものを体現し、曲の深淵を表現する。二〇二二年プロデュースした新作能『媽祖』が大好評を呼びました。今公演『神歌』では神聖な謡でホールを満ちた。

観世流シテ方。一九六六年、能楽師・博士文学の味方健の長男として京都に生まれる。独自の舞台世界を創り出すためにテアトル・ノウを主宰。的確な演技と豊かな感性で美的空間を実現できる演者として多くのファンをもつ。今公演『船弁慶』では優美と哀愁の舞人、勇壮と怨念の武将を演じわける。

和泉流狂言方。一九六六年、人間国宝・野村万作の長男として東京に生まれる。狂言の卓越した演技力にとどまらず、現代劇や映画など他分野でも非凡な才能を発揮。二〇二二年までの20年間、世田谷パブリックシアター芸術監督を務めた。今公演『佐渡狐』では、要となるシテを魅力的に演じる。

演目の解説



素謡「神歌」

能が完成する以前より、猿楽者(能楽師)によって演じられてきた『翁』。『翁』とは、神が老翁の姿となって現れて、祝福をもたらすというものです。現在でもおめでたい催しにさいして、番組の最初に上演されます。

この『翁』を素謡として演じるのが『神歌』です。素謡とは、謡だけで奏する上演形式のこと。「とうとうたらり」ではじまる荘重な謡によって、当公演の開催を寿ぎます。

狂言「佐渡狐」

都に年貢を納めに行く道中、道連れとなった佐渡と越後のお百姓の二人。佐渡に狐がいるかいないかで言い争いになり、どちらが正しいか賭けをします。佐渡のお百姓は「狐がいる」と言い張っているものの、実は佐渡に狐はお



能「船弁慶重キ前後之替」

味方玄 撮影・工藤円

番組

素謡

神歌

新 片山九郎右衛門

千歳 安藤貴康

地謡 中森健之介
角当 直隆
柴田 稔
武田 祥照

佐渡狐

狂言 奏者 野村萬齋

越後の百姓 飯田 豪
佐渡の百姓 内藤 連

後見 高野和憲

屋島

仕舞 柴田 稔

地謡 小早川康充
小早川 泰輝
谷本 健吾
中森健之介

羽衣

キリ 中森貫太

地謡 小早川康充
小早川 泰輝
谷本 健吾
中森健之介

休憩 二十分

船弁慶

義経 安藤継之助
静 知盛の悪妻 味方 玄

舟慶 宝生欣哉
従者 則久英志
従者 宝生久哉

大鼓 亀井広忠
小鼓 飯田清一

太鼓 小寺真佐人
笛 杉信太郎

間 重キ前後之替

船頭 中村修一

後見 安藤貴康
清水寛一
鶴澤 光

地謡 小早川康充
小早川 泰輝
武田 祥照
片山九郎右衛門
中森健之介

附祝言

らず、狐がどんなものなのか知りません。そこで、判定を任せ都の奏者にはかり、やつとこのことで佐渡のお百姓を勝たせるのですが…ここでまさかの大逆転劇が…。

『佐渡狐』は脇狂言に分類されます。脇狂言とは祝言を本旨とする作品です。

仕舞「屋島」「羽衣キリ」

仕舞とは、能一曲の舞どころを、地謡のもと、装束をつけず袴姿で舞う上演形式です。

『屋島』は『平家物語』による源平合戦の物語。豪壮な舞になります。能の中でも有名な『羽衣』は、清澄な雰囲気にも満たされています。おもむきの異なる二曲の仕舞をお楽しみください。

能「船弁慶重キ前後之替」

壇ノ浦で平家を滅ぼした源義経。英雄の義経ですが、兄の頼朝から謀反人とされます。追われる身となった義経は、都落ちして摂津の大物の浦につきましました。家来の武蔵坊弁慶の進言によって、義経の恋人の静は都に帰ることになります。静は白拍子を表わす烏帽子をつけて、門出の祝いの



能「船弁慶重キ前後之替」

味方玄 撮影・牛正正樹

舞、別れの舞を舞います。やがて船出のときをむかえて、涙ながらに立ち去ります。義経一行が海上に出てしばらく、にわかにかがわいて風になります。必死に船をあやつる船頭たち。荒れ狂う波間に、滅亡した平家一門の姿が現れ、平知盛の亡霊が長刀を振りまわし、潮を蹴立てて襲いかかってきます。弁慶は数珠をもんで不動明王に祈ります。執拗に追いつがる悪霊ですが、やがて祈り伏せられて消えていくのです。

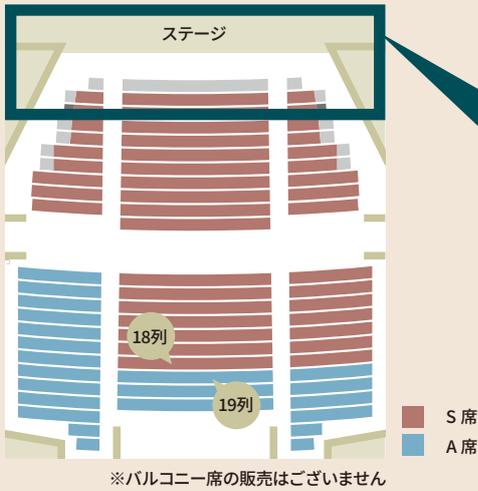
涙を誘う悲しい恋の別離と、手に汗握る怨霊との激戦。ドラマチックな展開に観客を夢中にさせる人気曲です。「重キ前後之替」の小書がつくことで、通常の『船弁慶』よりも演出が増します。静の烏帽子は金色、知盛の亡霊の装束は白式、流し足という特殊な型がはいるなど、能楽ファンにとっても必見の舞台となります。

(執筆：井上由理子)

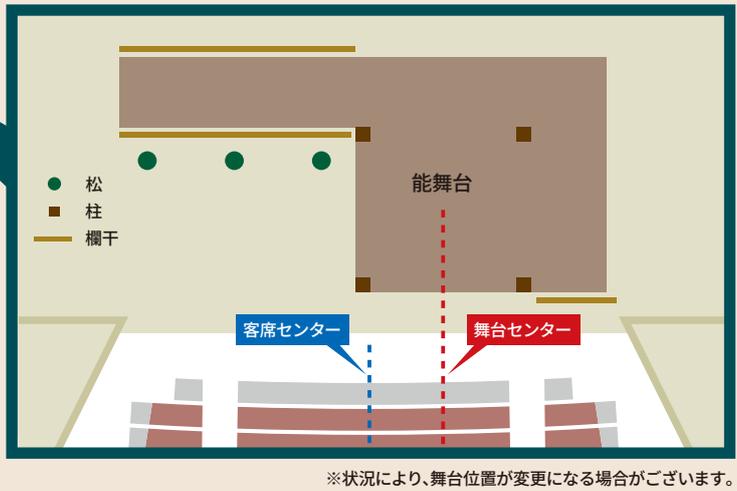
「立春！能・狂言の世界」における能舞台設置位置

本公演では、ステージ上に能舞台を設置いたします。下記レイアウト図をご参照のうえ、お座席をお選びいただく際にお役立てください。
 なお、状況により舞台位置が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

● 座席レイアウト ●



● 本公演(2/18)の舞台設置位置 ●



より講演を楽しむための第一歩
 初めての方にも
 オススメです!!

事前講座 | 味方 玄、能楽の魅力

日時 2023年1月22日(日)14時開演(13時30分開場) ※約90分
会場 やまと芸術文化ホール サブホール
参加費 1,000円(全席指定・税込) ※未就学のお子様のご入場はご遠慮いただきます。
講師 味方 玄(観世流シテ方)、武田祥照(観世流シテ方)
内容 能『船弁慶』と素謡『神歌』のご案内
 能面の起源と、本公演にて使用する能面の紹介
 能装着付け実演

発売日
友の会会員先行
 2022年10月12日(水)10:00～
 ※インターネットのみ
 ※会員先行は、一般発売日の前日18:00までの受け付けとなります。
一般発売
 2022年10月15日(土)10:00～
 ※一般発売日初日の窓口販売はいたしません。



チケット申し込み やまと芸術文化ホールチケットデスク

ネット申込	電話受付	窓口受付
https://www.yamato-bunka.jp/hall/ (24時間受付) 支払い方法: セブン-イレブン店頭(現金またはクレジットカード)	046-263-3806 (9:00 ~ 18:00) 支払い方法: ①1階ホール事務室(現金のみ) ②セブン-イレブン店頭(現金またはクレジットカード)	1階ホール事務室(9:00 ~ 18:00) 支払い方法: 現金のみ

※チケットの取り扱いに関しては、9月30日時点の情報です。今後の状況によって変更となる場合がございます。最新の情報はホームページにてご確認ください。
 ■お問合せ やまと芸術文化ホールチケットデスク(大和市文化創造拠点シリウス1階ホール事務室) 046-263-3806(9:00 ~ 18:00) ※年末年始・休館日を除く



やまと芸術文化ホール SNS 公式アカウント

ホールの運営情報や自主事業のレポートなどを発信しています!

Instagram



facebook

「やまと芸術文化ホール 友の会」へのご案内

入会 年会費無料

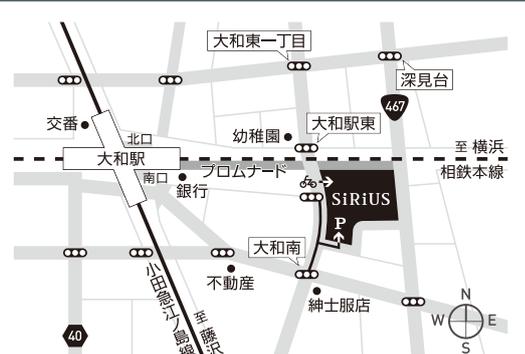
特典 チケットの
 先行販売など



ご入会はインターネットのみの受け付けです。
 詳細はホームページをご確認ください。
<https://www.yamato-bunka.jp/hall/members.php>

大和市文化創造拠点シリウス

〒242-0016 神奈川県大和市大和南一丁目8番1号 <https://www.yamato-bunka.jp/hall/>



小田急江ノ島線・相鉄本線 大和駅から徒歩3分
 ※駐車場の収容台数は限りがございます。公共交通機関でのご来場をお願いいたします。